

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度 九州管内将来交通需要予測・推計外業務
業 務 概 要	将来交通需要の予測 1式、将来交通量推計の実施と検証 1式、次期全国道路・街路交通情勢調査の実施に向けた検討 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森田 康夫 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契 約 年 月 日	令和 7年 1月14日
契 約 業 者 名	(株) 福山コンサルタント
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市博多区博多駅東3-6-18
契 約 金 額	34,991,000円(税込み)
予 定 価 格	34,991,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	九州地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 7年 1月15日
履 行 期 間 (至)	令和 7年 9月30日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度九州管内将来交通需要予測・推計外業務
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号九州地方整備局管内
3. 契約の相手方 住所：福岡市博多区博多駅東3丁目6番18号
会社名：(株)福山コンサルタント
電話：092-471-0211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、令和3年度全国道路・街路交通情勢調査による全国ブロック別の社会経済フレームに基づいた九州地域の将来交通量需要予測を行い、作成した将来OD表を用いて将来交通量推計の実施と検証等を行うものである。

また、次期全国道路・街路交通情勢調査の実施に向け、自動車起終点調査の広報や機械観測の精度改善及び精度検証を行うほか、関連資料の作成を行うものである。

2) 業務の内容

- 将来交通需要の予測
 - 将来発生集中交通量の予測
 - 九州地域将来OD表の作成
- 将来交通量推計の実施と検証
 - 将来交通量の推計と妥当性検証
- 次期全国道路・街路交通情勢調査の実施に向けた検討
 - 自動車起終点調査の実施準備
 - AIカメラの精度改善及び精度検証
- その他関連資料の作成
 - 新たな便益算定に向けた勉強会
 - 防災機能評価の検討
 - 高規格道路・重要物流道路関連資料の作成
 - 現道課題整理資料作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「将来交通量推計の妥当性を検証する上での留意点及び着眼点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫が記載されていること、及び評価テーマの「将来交通量推計の妥当性を検証する上での留意点及び着眼点」に対する技術提案について、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されているとともに、提案を裏付ける内容が十分に示され、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

道路部 道路計画第二課長